

令和2年度カキ養殖概況

津行篤士*・渡辺 新

養殖規模 令和2年度の漁業協同組合別マガキ養殖状況を表1に示した。全県の経営体数は、前年度から4経営体減少し、134経営体であった。筏台数は、前年度から35台減少し、1,966台であった。

養殖経過 本年度における牛窓沖海水温の年平均偏差の推移を図1に示した。4~9月は平年値との差が-1.8~1.7℃の間で変動した。その後、10月上旬から3月下旬は平年値との差が-1.4~2.1℃で推移した。

カキ養殖漁場39定点におけるクロロフィルa量の平均値は、抑制期(4~9月)は6.5μg/Lと、平年値(5.2μg/L)を上回ったが、夏季の変動が大きかった。また、養成期(10~翌3月)は3.1μg/Lと、平年値(3.3μg/L)をわずかに下回り、1月上旬と3月下旬は例年並みとなった。

本垂下は主に4月~5月下旬の間に行われ、沖出しは9、10月に、生産は笠岡市漁協を除き10月下旬~11月上旬の間に例年どおり開始された。生育状況は、生残個体数や殻高が平年並みであったものの、餌料となるプランクトン量が少なく12月末までの身入りは昨年度よりやや不良であった。しかし、1月以降はプランクトン量が増加し身入りは例年並みとなった。また、他産地の豊作等によりカキの単価は例年に比べ2割程度低めで推移した。

生産結果 年間生産量は過去5年間で最も多かった

前年度をやや下回り、前年度比90%の3,053tとなった(表1)。

県が実施したカキ出荷期間中のノロウイルス検査は、75検体いずれも陰性であった。

その他 県内採苗は日生町、伊里、邑久町、牛窓町漁協で8月上旬に始まり、8月下旬には予定枚数が確保された。

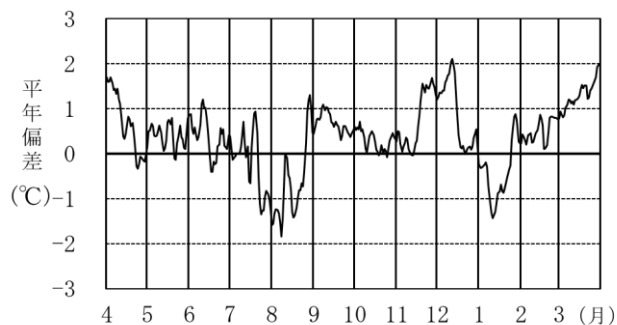


図1 令和2年度における牛窓沖海水温の年平均偏差の推移(平年値は1981~2010年の平均)

表1 マガキ養殖状況(令和2年養殖年度)

漁協名	経営体数	筏台数	沖出し時期 (月/日)	生産時期 (月/日)	生産量	
					むき身(t)	対前年度比(%)
日生町	43	491	10/12 - 10/21	11/ 5 - 4/17	1,357	89
伊里	5	40	9/24	10/29 - 3/22	20	67
邑久町	60	1,241	9/16 - 10/16	10/29 - 5/21	1,423	92
牛窓町	5	84	10/11	11/ 5 - 4/ 1	90	95
寄島町	16	84	10/22 - 10/27	11/ 6 - 4/12	138	78
笠岡市	5	26	10/20 - 10/24	11/28 - 6/ 3	25	113
合計	134	1,966	9/16 - 10/27	10/29 - 6/ 3	3,053	90

*岡山県農林水産部水産課